

VI-1 多様な県民活動の環境整備

1995年の阪神・淡路大震災では、多くのボランティアやNPOが救援復興活動に大きな役割を果たしました。これを契機に福祉、環境保全、まちづくり、文化芸術、男女共同参画、地域安全活動など幅広い分野で県民の自主的な活動が活発になっています。

こうしたボランティア活動の持つ自主性、主体性などの特性を尊重し、場所、資金、情報、人材などが不足している状況を踏まえ、多様な活動を促進するための支援を行うとともに、NPOなどと行政が協働・連携して事業を行い、多様な県民ニーズに的確かつ柔軟に対応していくことが求められています。

●ボランティア活動への支援及びNPOなどとの協働・連携の推進

NPOやボランティアによるボランティア活動の支援を充実するとともに、県行政の様々な分野において、NPOなどとの協働・連携を進め、拡大し多様化する県民のニーズに的確に対応していきます。

戦略プロジェクト

36 ボランティア活動の推進

ボランティア活動

ボランティア (Voluntary) は「自発的」などの意味で、主として“行為”を指して用いられる用語です。本計画では、ボランティアやNPOが行う、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする非営利の公益的活動（いわゆる宗教、政治、選挙活動を除く）をボランティア活動と呼んでいます。

ボランティア

ボランティア (Volunteer) は「志願者」、「篤志家」などの意味で、主として社会貢献活動を行う“人”を指して用いられる用語です。

NPO

NPOはNon-Profit Organization (民間非営利団体)の省略形で、本計画では、ボランティア活動を行う特定非営利活動法人（いわゆるNPO法人）及び法人格をもたない団体をNPOと呼んでいます。

36 ボランティア活動の推進 (県民部)

〈現状と課題〉

- ・活動する場所の確保が難しい、活動のための資金や情報が足りない、団体の運営や活動分野の専門的知識を持つ人材の確保が難しいといったNPOの実態があります。
- ・県内活動団体数は約5,000団体で、県認証NPO法人数は622団体です。
(いずれも2003年3月末現在)



市民活動フェア 2003&
かながわボランティアキャラバン

〈めざすがた〉

様々な分野でボランティア活動が一層活発に行われるようになっており、NPOなどと県が対等な立場でパートナーシップを組み、地域の課題を解決するための取組みが様々な分野で活発に行われています。

〈目標〉

○ボランティア活動の支援とNPOなどとの協働・連携の取組みの充実

(参考) 県認証NPO法人は2003年度末見込みで約950団体で、これまでの増加状況からすると、2006年度末には約1,850団体となることを見込まれます。

〈取り組む事業〉

県民のボランティア活動を促進するため、かながわ県民活動サポートセンターの開設や、かながわボランティア活動推進基金21の設置などの取組みを進めてきました。今後、さらに活動の支援の充実に努めるとともに、県行政の様々な分野において、NPOなどとの協働・連携を進め、拡大し多様化する県民ニーズに的確に対応します。

No.	構成事業	項目	単位	現状 (2003見込)	年度別目標		
					2004	2005	2006
1	NPOなどとの協働・連携による公的サービスの推進 NPOなどによる政策の提案や評価、協働による政策実施により、公的サービスの推進を図ります。そのため、NPOなどとの協働のための指針を策定します。	提案 [うち協働事業負担金 再掲分] 実施 評価 (民間・県)	件	8 [8] 検討 検討	10 [10] 検討 検討	10 [10] 5 5	12 [10] 10 5
2	ボランティア活動支援の推進 かながわ県民活動サポートセンターや「かながわボランティア活動推進基金21」などによりボランティア活動支援の推進を図ります。	ネットワーク推進事業 協働事業負担金 ボランティア活動補助金 ボランティア活動奨励賞 (県・市町村・民間)	件	0 8 10 5	3 10 12 5	3 10 12 5	3 10 12 5